

| | | | |
|--------|------------------|--|------------|
| | K B M 式 | <p>義足の懸垂は、内顆部の解剖学的構造によく適合したくさび又は F A J A L の方法によって行われ、膝蓋骨部は露出するため、特に採型時及び仮合わせ時の適合は、綿密に吟味すること。</p> <p>膝蓋靭帯より上部のソケットは、左右方向に変形しやすいものとなる傾向があるので、ソケット形成に際しては、補強材の種類、量、樹脂の強度を十分吟味して、強度、剛性を減少させぬよう留意すること。</p> <p>その他は P T S 式と同じ。</p> | |
| | 作 業 用 | <p>耐水性及び防蝕性に留意すること。</p> <p>その他は常用普通と同じ。</p> | |
| 果 義 足 | | <p>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>義足の懸垂は、切断端の形状を利用し、ソケットを切断端に固定することによって行われるので、適合に十分留意すること。</p> <p>足部は、遊動足部又は S A C H 足部の構造特性を利用したものとすること。</p> <p>特にソケットと足部との結合部の強度を保つように留意すること。</p> | ピロゴフ切断を含む。 |
| 足根中足義足 | 鋼 板 入 り | <p>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>切断端の骨突出部を損傷しないようソケットの適合とソケット構造に特に留意すること。</p> <p>足底は、鋼板、ゴムベルト等を挿入して弾性と強度をもたせること。</p> <p>足の形態の復元のため、スポンジで形成し、足底は牛なめし革を張り付けること。</p> | |
| | 足 袋 型 | <p>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>足底は、ゴムベルトを入れ足部の変形を防止し、かつ、耐久性を増加するようにすること。</p> <p>断端から踵までを包み足袋型とすること。</p> <p>締付けは、前後いずれでもよいこと。</p> <p>足部は、牛なめし革を張り付けること。</p> | |
| 足指義足 | | <p>アの基本工作法により、工及びオよりそれぞれ必要な材料・部品を選択し、組み合わせて製作すること。</p> <p>踵部にゴムバンドで引き掛け、又は足袋型にし、足部を包んで装着できるようにすること。</p> | |

注)

- 1 義手の作業用に付ける手先用具は、3個を範囲として必要な数だけオの完成用部品を加えること。
- 2 手先用具の取付部は、ピン固定法又は溝固定法により、太さは9mmとすること。
- 3 二重ソケットは、断端の表面を均等に受けるようにするものとし、支持部に取り付け、変形を防止するためにプラスチック等硬質の材料を使用すること。なお、皮膚接触面には、軟性の材料を付加することがあること。
- 4 障害者の殻構造義肢の耐用年数は、力の耐用年数によるものとすること。
- 5 障害児の殻構造義肢の使用年数は、キの使用年数によるものとすること。

ア 基本工作法

| 工 程 | 作 業 の 内 容 |
|-----------------------|--|
| (ア) 断端の観察 | 断端の表面の状況、関節の運動機能（屈伸、内転、外転等）の状況並びに肢位の観察及び特徴の把握 |
| (イ) 採寸及び投影図の作成 | 情報カードの記録、製作に必要な寸法及び角度の測定並びに記録並びに投影図の作成 |
| (ウ) 採型 | ギプス包帯法による陰性モデルの採型及び順型、陽性モデルの注型及び取出し並びに陽性モデルの修正 |
| (エ) 適合のチェック | チェックソケットの製作、チェックソケットによる適合のチェック及び修正並びに継手の中心位置の設定 |
| (オ) 陽性モデルの製作 | チェックソケットへのギプスの注型、陽性モデルの修正、表面の仕上げ及び乾燥 |
| (カ) ソケット製作 | ストッキネットの被覆、強化材の付加、PVAスリーブの被覆、樹脂の注型、取外し及びソケットトリミング |
| (キ) 支持部材の外形の形成及び要素の結合 | <p>義手：パラフィン、プラスチックフォームギプス等による支持部材外形の形成及び要素の結合</p> <p>義足：股継手、膝継手、足部等の機能部品の支持部材による結合及び足部の調整</p> |
| (ク) 組立て | <p>義手：継手等各部の組合せ及び結合並びにハーネスの取付け</p> <p>義足：カップリングの取付け、ベンチアライメントの設定、各部の組合せ及び結合、懸垂装置の取付け並びに角度調整</p> |
| (ケ) 仮合わせ | <p>義手：ソケットトリミングの修正、ハーネスの調整及び機能の点検、義手操作の基本の指導並びに適合の修正</p> <p>義足：アライメントの修正、適合の点検及び修正、各部の機能の点検並びに起立及び歩行の基本動作の指導</p> |
| (コ) 外装及び仕上げ | <p>義手：外形の研削、ストッキネットの被覆及びラミネーション</p> <p>義足：カップリングの取外し、外形の形成、内部余肉の除去、外装並びにソケットの適合及び機能の最終点検</p> |
| (サ) 適合検査 | 適合及びアライメントの点検並びに操作の指導 |